

第8回インターネット活用教育実践コンクール

【応募資格】

- 国公立小・中・高等学校・大学等／教育委員会／在外教育施設／社会教育施設／企業・団体・教職員の研究グループ
- 教職員・児童生徒／社会教育指導者／社会教育施設関係者・利用者

【応募方法】

応募様式・報告書フォーマットはこちらからダウンロードして、ご利用になれます。

→ URL <http://www.netcon.gr.jp/>

指定の①応募様式及び②実践事例報告書を以下の要領で提出してください（メール送信のみ）。

- ①応募様式に必要な事項を記載してください。
- ②実践事例報告書には、記載事項「実践のねらい、特徴・工夫・努力した点、実践内容、実践結果、考察（今後の課題）」を、A4(縦長横書き)2枚程度にまとめてください。また、関連 web サイトがあればアドレス等を備考欄に記載してください。

なお、図表・写真等の別途参考になる資料はメール送信の他、郵送でも受け付けします。

【審査方法】

- 第1次審査 提出の実践事例報告書を書面審査します。
- 第2次審査 第1次審査を経たものについては、現地取材により各10分程度の事例紹介ビデオを作成し、これによる審で各賞を決定します。
(なお、事例紹介ビデオを作成する際に、活動の記録映像等をお借りすることもあります。特定の商品名は入れられませんので、ご注意ください。)

【広報及び著作権等】

入賞した実践事例については、報告書及び事例紹介ビデオをエル・ネット及びインターネット上、教育専門誌上で広報します。このことについて、著作権・肖像権にご注意ください（報告書に、他人の著作物が含まれる場合には、応募者の責任において著作権者から応募のための複製の許可を得てください。肖像権についても同様とします）。また、個人情報扱いについて、条例やガイドラインを遵守した実践事例であることを前提とします。

【発表と表彰式（予定）】

- 第1次審査結果発表 平成 19 年 11 月
- 第2次審査結果発表 平成 20 年 2 月
- 表彰式 平成 20 年 3 月中旬以降
東海大学校友会館（東京都千代田区・霞が関ビル）

インターネット活用教育実践コンクールの流れ

<p>第 8 回 インターネット活用教育実践コンクール 実践事例報告書</p> <p>1. 実践のねらい</p> <p>2. 特徴・工夫・努力した点</p> <p>3. 実践内容</p>	<p>4. 実践結果</p> <p>5. 考察（今後の課題）</p> <p>備考（web サイトのアドレス等）</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------

ホームページから A4・2 枚のフォーマットをダウンロードして実践事例報告書をまとめ、提出します。



優れた実践事例については、実行委員会で事例紹介ビデオを作成し、web サイト上で広報します。

第7回インターネット活用教育実践コンクール

👑 内閣総理大臣賞 👑

「田舎の農業高校生が主催する食育講座
—田舎からの発信 都会の小学生・お母さんへ—」



内閣総理大臣賞を受賞して

愛媛大学農学部附属農業高等学校
小田清隆先生



愛媛と鎌倉、高校生と小学生、この機会がなければ出会うはずのなかった子どもたち。笑顔と笑顔、心と心をつなぐインターネット。コミュニケーションツールとしてのインターネットの有効性を受賞を契機に再認識することができました。とかく陰の部分ばかり指摘されがちなインターネット。その陰を、子どもたちの笑顔が吹き飛ばしてくれました。現在も交流は進行中、その成果をまた報告できればと思っています。受賞がさらに交流の輪を広げてくれています。